

Ⅱ 研修内容

● 受講対象者

教職員研修センターで実施する研修の対象者は、原則として、都立学校並びに区市町村立の小学校、中学校、義務教育学校及び特別支援学校に常時勤務する東京都教育委員会が任命した以下の教職員です。

- 統括校長・校長
- 副校長
- 主幹教諭
- 指導教諭
- 主任教諭
- 主任養護教諭
- 教諭
- 養護教諭
- 栄養教諭
- 期限付任用教員
- 専修実習助手
- 実習助手
- 主任寄宿舎指導員
- 寄宿舎指導員
- 産育休代替教員

(妊娠出産休暇又は育児休業を取得する期間中代替となる臨時的任用教職員)

【注意】

時間講師、日勤講師、再雇用、再任用、学校栄養職員の方は、原則として対象外です。

※ 専門性向上研修については、一部の講座に限り、時間講師等の聴講ができます。詳細は、6月頃に通知します。

● シラバスの見方

【研修番号】

全ての講座に研修番号があります。

【研修番号上の網掛け】

研修番号に網掛けしている研修は、中堅教諭等資質向上研修Ⅰの学習指導又は生活指導・進路指導として受講できます。

【研修のねらい】

教員として求められる基本的な四つの力の、どの力を身に付けるかを示します。

【対象】

幼：幼稚園 小：小学校 中：中学校
高：高等学校 特：特別支援学校
※「小」「中」は義務教育学校を含みます。
※「中」「高」は、中等教育学校及び併設型中高一貫教育校を含みます。ただし、「都立中」は都立中等教育学校及び都立中学校のみ対象です。
※「特(中・高)」等となっている研修は、特別支援学校の括弧内の学部から申し込むことができます。
※「小・(中)」等となっている研修は、主対象以外に括弧内の校種からも申し込むことができます。

【会場(予定)】

予定されている会場が示されています。学校会場で、会場校名が示されていない場合は、開催日までにホームページ又は別途通知にて確認してください。カッコ内は、主な最寄り駅です。

【研修形態】

講義：講師による説明、講演、講義等
協議：受講者同士の討論、話し合い、協議等
実習：受講者の実験、製作、実技、操作、施設見学、参観等
演習：受講者による課題解決、問題演習、学習指導案作成、模擬授業、ロールプレイング、事例発表、事例研究等
授業研究：講師や受講者が学校等で授業を行い、それについての協議・講義等
演習個別：所属校における実践研修

【研修名】

専門性向上研修では、ここにⅠ～Ⅲが示されています。自己の課題等に応じた研修を受講する際の参考となります(p. 5参照)。

研修番号 4131

社会・地歴・公民Ⅲ

社会・地理歴史・公民科の推進と実践的な指導

ねらい

教材開発や「社会的な見方・考え方」を用いる考察のさせ方及び、授業改善に関する指導法について理解を深め、校内で社会科教育を推進する力を高めます。

対象

小・中・高・特 50名まで

授業改善の視点や方法について助言する力を高め、学校・地域に普及・還元する力を身に付けたい教員

日程等

| 回 | 実施日時 | 会場(予定) | 内容 |
|---|--------------------------------|----------------|------------------------------------|
| ① | 7月 13:30 27日 ~ (木) 17:00 | 教職員研修センター(水道橋) | 講義・校内の社会科教育の充実を図るための指導 |
| ② | 9月 13:30 ~ 17:00 | 未定 | 演習・国会周辺のフィールドワークによる教材開発(公民的・地理的内容) |
| ② | 9月 13:30 ~ 17:00 | 未定 | 演習・地域素材・博物館の施設等を活用した教材開発(歴史的内容) |
| ③ | 9月 ~ 11月 | 受講者所属校 | 演習・校内の授業研究等で指導・助言の個別工夫 |

①回の講師は、大学教授等を予定

特色

- ◇学習指導要領等改訂のポイント
- ◇②回の演習は、公民的・地理的内容か歴史的の内容のどちらかを選択
- ◇③回は、所属校における実践研修

研修のポイント

| | |
|------|---|
| 最新情報 | ● |
| 教材理解 | ● |
| 指導技術 | ● |
| 授業研究 | ● |
| 実践事例 | ● |
| 教材開発 | ● |

【所属校における実践研修】

太線で囲まれている回は、「所属校における実践研修」の開催回です。詳細は、「専門性向上研修の受講に際しての留意事項」を御覧ください。

【研修のポイント】

教科等・教育課題研修では、●印の付いた内容が研修の中に含まれていることを示します。
最新情報：今後の教育の動向など、時期を捉えた新たな情報
教材理解：指導のポイントになる教材等の分析や理解
指導技術：効果的な授業展開の工夫や指導と評価のポイント
授業研究：授業に基づく協議や講義をとおした授業改善のポイント
実践事例：各領域や各校種における指導実践等の報告等
教材開発：指導実践事例集や実践に役立つ教材等の作成